

東日本大震災から5年 復興支援に関する取組み

2011年3月11日発生の東日本大震災から、本日で5年が経過しました。被害に遭われた皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を祈念いたします。株式会社レオパレス21(東京都中野区、社長:深山英世、以下:レオパレス21)では地震発生以来、多方面での支援に着手してまいりましたが、取組みについてお知らせいたします。

■住まいの提供

・ 仮設住宅の建設

プレハブ建築協会を通じて応急仮設住宅建設の要請を受け、宮城・福島両県に合計364戸を建設しました。この取り組みが評価され、2011年10月に国土交通省の「第23回住生活月間功労者表彰」において、国土交通省住宅局長賞を受賞しました。



・ レオパレス21 管理アパートの提供

① 民間借上げ住宅の提供:

災害救助法の適用による仮設住宅の代替として、当社アパートを961戸提供しました。

② 被災された方を対象にした賃貸住宅の割引:

短期(30日~100日)でご利用の方について、全管理物件を通常利用料の半額で提供し、824件のご利用がありました。また、長期(100日以上)でご利用の方について、敷金・礼金・日割り家賃などの初期費用を無料で提供し、268件のご利用がありました。

③ 被災されたアパートオーナー様への住居提供:

被災された当社のアパートオーナー様とそのご親族に無料で賃貸物件を提供し、39件のご利用がありました。

■再生可能エネルギーの普及

・ 太陽光発電事業の推進

東日本大震災により再生可能エネルギーへの関心が高まりました。当社は2011年4月より太陽光発電事業を本格化し、アパートオーナー様にもご協力をいただき、当社管理物件約13,000棟の屋根に太陽光発電パネルを設置しました。発電容量は182MW、一般家庭約60,000世帯分の電力需要に相当します。また、アパートやホテル、介護施設にLED照明を設置し、省エネ活動に取り組んでいます。



■義援金活動

・日本赤十字社への寄付

レオパレス 21 グループ役員・従業員のほか、取引業者様やお客様にもご協力いただいて義援金の募集を実施いたしました。お寄せいただいた義援金は日本赤十字社を通じて被災地に寄付しております。

レオパレス 21 グループ役員・従業員	3,437,132 円
お取引業者様	1,003,000 円
アパートオーナー様	8,168,450 円
入居者様	200,775 円

・ウルトラマン基金への募金活動*

被災地の子供たちの支援のために、円谷プロダクションならびに賛同企業グループ各社により設立されたウルトラマン基金への募金活動を実施し、入居者様からお寄せいただいた 476,814 円を寄付しております。*ウルトラマン基金は2011年3月東日本大震災直後に設立され、被災地の子供たちの支援訪問、通園通学用マイクロバス寄贈、被災地各県の子供基金への寄付等の活動を行っています。

■その他の取組み

・レオマイルの被災地産物への交換

イベントへのご参加、ホテル等の施設のご利用、および記念日の際にアパートオーナー様へ進呈している「レオマイル」を東北地域の特産品と交換していただくことで、東北の復興を支援。4,549 件、納品価格 2,766 万円のご利用がありました。

・救援物資の抛出・配布

衣類・日用品など救援物資としてダンボール 67 箱分を当社従業員が抛出し、仙台支店社員が被災地において配布いたしました。

レオパレス 21 は 2011 年 3 月の震災直後にホテルレオパレス仙台に現地対策本部を設置するとともに、本社に災害対策本部を設置し、現地での入居者様、アパートオーナー様、当社社員の安否確認を行いました。併せて、居住上の安全確認を目的に、一級建築士ら有資格技術者 134 名で編成した調査チームを現地に派遣し、同年 4 月には当社代表取締役社長の深山英世を含むチームが現地を視察しております。当社管理アパートのうち 130 棟が被災しましたが、倒壊および津波で流された物件はありませんでした。

レオパレス 21 は住まいを提供する企業として、今後も被災地の皆様への継続的な支援活動に取り組んでまいります。



津波により流された建材、自動車等をせき止めている当社管理物件

＜本件に関するお問い合わせ＞
株式会社レオパレス 21 広報・IR グループ TEL: 03-5350-0216

以上